



ぽかぽかと暖かい季節になり、戸外にお出かけしたくなりますね。草花や生き物など自然を観察しながら五感を刺激することは、お子さんの脳の活性化につながります。

今月は「言葉の発達」についてお伝えします。支援室でも言葉の発達についての相談は非常に多いです。是非子育ての参考にしてみてください！

大脳皮質（言葉をつかさどっている部分）の発達を促すには、まず体と心が十分に育つことが必要です。そのためには？

- ・規則正しい生活リズムをつくる
- ・体の発達に合わせた十分な運動
- ・人とふれあいなどの心地よい経験

を積んで言葉の発達の土台を作っていきます

大脳皮質



ことばは、ビルのように下から順に積み上がっていく構造をしています。ビルの土台（体づくり、気持ちの安定）から順番に工事する（育てる）ことが大切です！

言葉の発達を促そう！

～どんな風に声をかける？～

赤いぶーぶー
走っているね

子どもの行動や
気持ちを言語化
する（パラレルトーク）

大人の行動
や気持ちを
言語化する
（セルフトーク）

ママは
ごはんの
準備を
しているよ

子どもの声
をそのまま
真似る
（モニタリング）

ぶー
ぶー

ぶーぶー
だね

おちゃ

冷たい
お茶を
飲もうね

1語文を2語文以上
に広げて伝える
（エキスパッション）

ことばのビル

